

教員活動状況報告書

提出日：令和 6 年 3 月 4 日

所 属： 獣医学部 動物応用科学科

氏 名： 水野谷 航 職位： 准教授

役 職：

I ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任（教育活動の範囲）

（教育活動について何をやっているのか：役職担当・主要担当科目リスト（必修，選択）
（受講者数）（学部向け，大学院向け）（學理データ活用）

教師として何に責任を負っているかを明確にし，自分が担当している授業科目に関して
数行で説明する。（分量の目安：2～5 行（80 字～200 字）（科目表以外））

※分量（字数）はあくまで目安ですので，超えても構いません。内容を優先して下さい。（以下同じ）

動物応用科学科の中で伝統的な畜産学に根付いた学問分野を教育する責任を感じている。畜産学も幅広い学問であるが、私は畜産物利用学（基本的には家畜由来の動物性食品科学）教育を専門分野としており、担当授業科目もこの学問を幹としている。さらに他大学との比較で述べると、本学では食肉加工施設が充実しているため、この施設を活用した内容を取り入れている。

| 科目名 | 学科・専攻 | 必，選， 自 | 配当年次 | 受講者数 |
|-------------------|---------|-----------|--------|---------------------|
| 食品製造学 | 動物応用科学科 | 選 | 3 年次 | 92 |
| 食品科学 | 動物応用科学科 | 必 | 2 年次 | 140 |
| 食品科学実習 | 動物応用科学科 | 選 | 3 年次 | 69 |
| 畜産物利用学 | 獣医学科 | 選 | 3 年次 | 128 |
| 専門ゼミ | 動物応用科学科 | 必 | 3 年次 | 4 |
| 科学の伝達 | 動物応用科学科 | 選 | 4 年次 | 3 |
| 卒業論文 | 動物応用科学科 | 必 | 4 年次 | 3 |
| 基礎ゼミ | 動物応用科学科 | 必 | 1 年次 | 178 (担 当 35) |
| 生物学実験 | 動物応用科学科 | 必 | 1 年次 | 172 |
| 食品科学特論 I | 獣医学研究科 | 選 | 1,2 年次 | 8 |
| 動物生命科学特別研究 V-I | 獣医学研究科 | 必 | 1,2 年次 | 4 |
| 動物生命科学特別淡習 V-I | 獣医学研究科 | 必 | 1,2 年次 | 4 |

| | | | | |
|--------------------|--------|---|--------|---|
| 動物生命科学特別研究 V-II | 獣医学研究科 | 必 | 1,2 年次 | 1 |
| 動物生命科学特別淡習 V-II | 獣医学研究科 | 必 | 1,2 年次 | 1 |

2. 教育の理念（育てたい学生像，あり方，信念）

1. で説明した教育面での責任を基にしながら自分の教育理念に基づいて自分の教育アプローチについてまとめる。（自分の教育アプローチの説明：なぜやっているのか，自らの信念，価値，目指すもの）（分量の目安：8～12 行（320 字～480 字））

学生にとってなぜ学ぶ必要があるのかを自覚できるような教育を目指す。大学・大学院教育は義務教育ではない（つまり学生からすると教育は与えられるものではなく自ら得る）ことを学生が自覚し、自主的な学習意欲を高める事が重要である。一方で私立大学である以上、授業料に見合う教育サービスを、それを望む学生（あるいは学費支援者）に与える点も忘れてはならないと考える（つまり、私立大学は塾や家庭教師の要素も含むと考える）。この両者は時に対立する命題である。教員はこの両者のバランスを見つつ、かつ時代背景にも配慮しながら対応する必要を感じている。また、時代によって変わる以下の要因：学生の基礎学力、産業規模（私の場合は畜産業、食肉関連産業、食品産業）、教育内容のアップデート項目、教育システム（リモート講義等）にも、臨機応変に対応していく方針を持って教育に取り組んでいる。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方，方法）

教育の目的と目標（これまでの教育経験においていつも行っていること。重要視していること。自分の教育を特徴づける方法）（分量の目安：15～24 行（600 字～960 字））

学生にとってなぜ学ぶ必要があるのかは自分で手を動かし学習をすることで促されると考え、アクティブラーニングを重要視している。特に私は以下のように ICT を活用したアクティブラーニングを取り入れていて、これが自身の特徴である。

アクティブラーニングについての取組

講義の時間中に 10 分程度で回答ができる課題を提示し、講義時間内に学理に提出する手法を採用した。また Mentimeter というオンラインアンケートツールを利用し、クイズ大会の形式で講義内容の小テストを実施した。匿名で参加できるため、気軽に参加できる点で有用なツールである。この方式はエンターテインメント性が高いため、講義の緊張感を和らげる効果も得られた。

ICT の教育への活用

授業の録画を Meet で行っていることを利用して、新型コロナウイルス感染等の理由で対面受講ができない学生に対して特別に Meet で参加することを許可した。すなわち簡易的なものであるが ICT を利用したハイブリッド授業の実施ができた。これはコロナ禍において ICT ツールが発達した副次的な効果と言える。本学では学生はタブレットまたはノート PC を全員が所持しているため、上記アクティブラーニングもこれらの端末を利用して行った。

4. 教育方法の改善の取組（授業改善の活動）（分量の目安：15～24 行（600 字～960 字））

現在の授業実践・教授手法をどのように改善していますか。

(①から⑤まで個別に記載又は①から⑤までまとめて記載ください)

今年度は自身がコーディネーターの科目の成績評価で定期試験と平常点のうち、平常点の比率を前年度より高め、普段の授業に真摯に取り組む学生が高評価を得られる方式に変更した。また、授業時間内の課題については内容を吟味し、受講生が取り組みやすい課題設定を意識した。授業内容の理解度については毎回、授業時間外に取り組む小テストを行うことである程度把握できた。この小テストが自主学習のきっかけになることを期待して行った。Mentimeter で授業時間内に質問を受け付けるようにして、次の授業でその質問に回答するサイクルがうまくできた。自学自習を促す工夫が今後の課題である。

①教育（授業，実習）の創意工夫（A～C）

A

②学生の理解度の把握（A～C）

A

③学生の自学自習を促すための工夫（A～C）

B

④学生とのコミュニケーション(質問への対応等)（A～C）

A

⑤双方向授業への工夫（A～C）

A

※A（十分実施している） B（実施しているが十分でない） C（うまく取り組めていない）

⑥国家試験対策としてどのような取組をしましたか。（V 学科， M 学科の教員の方のみ記載してください。）

5.学生授業評価（分量の目安：4～7行（160字～280字））

①授業評価の結果をどのように授業に反映させましたか。

授業時間以外の学習時間がどの担当科目も低い評価であったので、Azamoodle の小テストは全ての授業実施回で授業時間外に実施するように設定した。また好意的な評価を受けたポイント(mentimeter等の activity)については継続した。

②①の結果はどうでしたか。

小テストに取り組む時間分は増えたはずだが、2023 年度も授業時間以外の学習時間については前年度とほとんど変化がなかった。

③②を踏まえて次年度はどのように取組みますか。

良いアイデアは現時点ではないが、小テストに調べるタイプの設問を組み入れ、より受講生が興味を持って授業内容について時間外に考える時間を増やしていきたい。

6. 学生の学修成果（分量の目安：4～7行（160字～280字））

①学生の成績向上に資する取組を何か考えていますか。

（参考となる取組については、学内で共有させていただく予定です。）

上述のMentimeterというオンラインアンケートツールは学習意欲の向上に資する実感を得たので、今後とも利用したい。質問も匿名で受けられるので、大勢の前で話しにくい学生も質問がしやすい環境である。質問用にできるならスクリーンが2台ほしい。

②教育活動によって得られた学生の成果及び学生・第三者からの評価

我々は食品を製造する実習や学問を教育しているため、実生活とも関わりが強い。食肉製品を実際に食した感想を聞くと非常に好意的なコメントが多く得られる。

7. 指導力向上のための取組（FD研究会参加状況）（分量の目安：1～2行（40字～80字））

FD研究会には参加するように心がけているが、年々増加する大学業務の都合で出られないことも多い。その場合は、後で映像を見て情報を得ている。

8. 今後の目標（理念の実現に向かう今後のマイルストーン）

教育活動に関する今後の目標を記載してください。短期的な目標と長期的な目標を分けて記載してもかまいません。（分量の目安：3～6行（120字～240字））

卒業研究のような時間（単純な授業評価）で縛れない活動も立派な教育活動と思う。特に大学教員は研究者でもあり、研究と教育を上手に融合させていくことが目標である。研究活動を通じて得られる学習効果は座学や多人数での実習を大きく上回ると実感している。

9. 添付資料（根拠資料）（※）資料名のみ

※資料については非公開扱いのものもありますので、資料名のみを記載してください。